








代表幹事	事務局			起案者
	事務局長	合議		
		   		
起案	2023年	5月	31日	公 印
決裁	年	5月	31日	
施行	年	月	日	
指示事項又は意見				
件名	補助事業等実績報告について			
標記の件について、補助事業年度の終了に伴い、米子市長に対し、下記のとおり補助事業の実績報告をいたしたく伺います。				
記				
1 交付決定日	令和4年7月4日（人起第425号-2）			
2 交付決定額	320,000円			
3 補助金受領日	令和4年7月25日（概算払）			
4 精算額	320,000円			
5 実績報告書	別紙（案）のとおり			

令和5年5月31日

米子市長 伊 木 隆 司 様

補助事業者等 米子市東町161番地2  
米子市人権問題企業連絡会  
代表幹事 佐 伯 祥 一  
電話番号 37-3183

補 助 事 業 等 実 績 報 告 書

令和4年7月4日付け人起第425号-2で交付決定の通知のありました補助金等に係る補助事業等の実績につきまして、米子市補助金等交付規則（平成17年米子市規則第46号）第18条の規定により、次のとおり報告します。

記

- |   |                                    |          |
|---|------------------------------------|----------|
| 1 | 補助金の交付決定額                          | 320,000円 |
| 2 | 補助金等の精算額                           | 320,000円 |
| 3 | 補助金等の既受領額及び受領日<br>概算払（令和4年7月25日受領） | 320,000円 |
| 4 | 補助事業の実施期間<br>令和4年4月1日～令和5年3月31日    |          |
| 5 | 添付書類<br>(1) 事業報告書<br>(2) 収支決算書     |          |

## 2022年度事業報告

米子市人権問題企業連絡会は、1996年の設立以来、会員企業相互の連携を密にするとともに、企業内はもちろん、社会に人権を定着させるための様々な取り組みを進めてまいりました。依然として、同和問題をはじめとするさまざまな人権課題を解決できない状況が続きますが、各企業には、従業員・顧客の人権を尊重した企業体質の構築や企業倫理としてのコンプライアンスの実践など、ますますの努力が求められています。各企業はその社会的責任をしっかりと自覚し、人権問題に対する正しい理解と認識を深めなければなりません。

2022年度も新型コロナウイルス感染症は社会に大きな影響を与えましたが、企業内研修も徐々に再開し、各種研修会も感染対策をとっての会場開催や、オンライン開催などの方法で開催し、企業トップから従業員一人ひとりの人権意識の高揚を図ることで、差別のない明るい職場づくりと公正採用選考の推進等に努めてまいりました。

8月18日には新規採用者研修を開催し、                    さんに同和問題についての講演、また                    の                    さんに電話対応のあり方について実技を加えてご指導いただきました。

11月28日から12月9日にかけて、録画配信で人権問題研修会を開催し、「インターネットと人権～個人・企業人として必要なネットリテラシー～」と題して、                    の                    さんに、スマホの使用を中心に、人権侵害の被害者にも加害者にもならないための情報管理についてお話しいただきました。

2月28日には、トップ及び担当者等研修会を開催し、「シニア社員のモチベーション低下が及ぼす影響とその対策」と題して、                    の                    さんに、企業の成長にシニア社員の活躍が欠かせないという現状を受け、シニア社員のモチベーション低下に対する対策を分かりやすくお話いただきました。

その他、全国集会では、「部落解放・人権西日本夏期講座」「部落解放研究全国集会（米子市開催）」「全国企業連絡会全国集会」「人権啓発研究集会」等に多数の方にご参加いただき、人権問題の解決に向けた学習と交流を深め、資質の向上を図ることができました。

「人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」は鳥取市を主会場に分散開催され、同和問題ほか様々な人権課題への取り組みなどを学ぶことができました。

「第48回米子市人権・同和教育研究集会」は、分科会は引き続き中止となりましたが、社会学の視点から見た同和問題とトランスジェンダーに関する講演があり、人権問題の基軸というべき同和問題と、多様性のキーワードの1つであるセクシュアリティを巡る人権課題について、研修を深めることができました。

機関紙「人企連だより」で活動の様子を会員企業の皆様にお知らせいたしました。

2022年度末の会員数は69社ですが、今後とも新会員の獲得と魅力ある企業活動の充実のため、会員企業が共に手を携え邁進していきたいと思います。

2022年度事業日誌

(敬称略)

月	日	事業内容	場所	参加者
4	13	2021年度会計監査	米子市役所	会計監査
4	26	第1回幹事会 ・総会議案について ・意見交換	皆生グランドホテル天水	幹事
6	3	総会 ・2021年度事業報告 ・2021年度収支決算報告及び監査報告 ・2022年度事業計画(案)について ・2022年度収支予算(案)について ・規約の改正について ・役員を選出(案)について	書面開催 (6月13日議決)	51社
6	17	第2回幹事会 ・代表幹事及び副代表幹事を選出について	書面開催 (6月27日議決)	幹事
6	9 10	第47回部落解放・人権西日本夏期講座 ・講演「基地から漏れ出すPFAS 沖縄で放置される環境汚染」 島袋夏子(琉球朝日放送制作プロデューサー) ・講演「沖縄で考えるジェンダー平等」 矢野恵美(琉球大学法務研究科教授) ・講演「沖縄戦の遺骨収集『ガマフヤー』が伝えたいこと」 具志堅隆松(ボランティア「ガマフヤー」代表) ほか	オンライン配信 (沖縄県那覇市)	5社 14名
8	3	第47回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会 ・講演:「現代社会の部落差別にどう向きあうか」 講師:阿久澤麻里子(大阪公立大学教授) ・報告:「鳥取県における部落差別の現状について」 報告者:坂根政代(部落解放同盟鳥取県連合会) ・ほか4会場8報告	とりぎん文化会館 (鳥取市)ほか サテライト開催	11社 23名
8	18	新規採用者研修会 ・講演「出会いと表現～あることをないことにしない～」 講師: <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> ・講習「電話対応マナー研修」 講師: <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>		7社 31名
11	1	三市人企連情報交換会 ・各市同企連・人企連の活動状況について ・意見交換	米子市役所第二庁舎	代表幹事 事務局

月	日	事業内容	場所	参加者
1	15	部落解放研究第55回全国集会	鳥取県立米子産業	15社
	16	・「水平社100年とこれからの部落解放運動」 ～格差と社会的排除が覆い被さろうとする社会からの転換を～ 赤井隆司（部落解放同盟中央書記長） ・「13年にもわたる鳥取ループとの闘い」 ～鳥取ループ・示現舎裁判闘争報告～ 下吉真二（部落解放同盟鳥取県連合会書記長） ・5分科会	体育館ほか (米子市)	25名
1	28	人権問題研修会	録画配信	6社以上
～		・演題：インターネットと人権 ～個人・企業人として必要なネットリテラシー～		47名
1	9	講師：[REDACTED]		
1	9	第39回同和問題に取り組む全国企業連絡会全国集会 テーマ『ヒロシマで考える 「差別のない、平和で公正な社会をめざして」』 ・「広島部落解放運動と相次ぐ差別事件」 岡田英治（部落解放同盟広島県連合会委員長） ・記念イベント「被爆ピアノ平和コンサート」 矢川光則さんとその仲間たち（被爆2世の調律師）	広島国際会議場 (広島市)	3社 4名
1	19	第37回人権啓発研究集会	レイボックホール	2社
	20	・地元報告「埼玉の部落解放運動の歴史と現在」 小野寺一規（部落解放同盟埼玉県連合会書記長） ・リレートーク「ヘイトクライムとウトロ地区放火事件」 金秀煥（ウトロ平和記念館副館長） ほか	ほか(さいたま市)	2名
1	24	第48回米子市人権・同和教育研究集会 ・講演「部落解放への展望～差別の仕組みから考える～」 講師：内田龍史（関西大学社会学部教授） ・講演「LGBTとジェンダー・セクシュアリティを巡る人権課題」 講師：仲岡しゅん（弁護士）	米子コンベンションセンター	13社 25名
2	28	トップ及び担当者等研修会 講演：シニア社員のモチベーション低下が及ぼす影響とその対策 講師：[REDACTED]	米子コンベンションセンター	26社 35名
3	20	人企連だより発行		

2022年度収支決算

(1) 一般会計収支決算

収入の部

(単位：円)

費 目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (B-A)	決 算 額 の 内 容
1 会 費	1,130,000	1,050,000	△ 80,000	～ 29人 @ 5,000 × 14社 = 70,000円
				30～ 99人 @10,000 × 26社 = 260,000円
				(途中入会) @ 5,000 × 1社 = 5,000円
				(途中入会) @ 4,000 × 1社 = 4,000円
				(途中退会) @ 6,000 × 1社 = 6,000円
				(途中退会) @ 5,000 × 1社 = 5,000円
				100～199人 @20,000 × 18社 = 360,000円
				200～299人 @30,000 × 6社 = 180,000円
				(途中退会) @10,000 1社 = 10,000円
				300人～ @50,000 × 3社 = 150,000円
				72社 1,050,000円
2 雑 入	8,437	5,010	△ 3,427	預金利息等
3 繰越金	771,563	771,563	0	前年度繰越金
合 計	1,910,000	1,826,573	△ 83,427	

支出の部

(単位：円)

費 目	予算額 (A)	流用額 (B)	決算額 (C)	比較増減 (C-(A+B))	決 算 額 の 内 容
1 会議費	130,000	0	65,492	△ 64,508	幹事会、総会資料、三市情報交換会
2 事業費	1,330,700	0	705,794	△ 624,906	
(1) 研修費	778,500	0	567,524	△ 210,976	研修会、集会等参加費
(2) 旅 費	352,200	0	0	△ 352,200	
(3) 啓 発 費	200,000	0	138,270	△ 61,730	人権啓発DVD購入
3 事務費	140,000	0	93,407	△ 46,593	
(1) 通信運搬費	100,000	0	87,040	△ 12,960	切手
(2) 消耗品費	40,000	0	6,367	△ 33,633	事務用消耗品
4 負担金	11,000	0	10,220	△ 780	鳥取県研究集会負担金
5 予備費	298,300	0	0	△ 298,300	
合 計	1,910,000	0	874,913	△ 1,035,087	

(収入) 1,826,573円 - (支出) 874,913円 = 951,660円は、次年度へ繰り越す。

(2) 補助事業会計収支決算

収入の部

(単位：円)

費 目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (B-A)	決 算 額 の 内 容
1 補助金	320,000	320,000	0	米子市補助金
2 雑 入	0	0	0	預金利息
3 繰越金	1	1	0	前年度繰越金
合 計	320,001	320,001	0	

支出の部

(単位：円)

費 目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (B-A)	備 考
1 事業費	320,001	320,001	0	独自研修開催に係る経費
合 計	320,001	320,001	0	